

FUJIEDA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

2003-2004年度RIテーマ

◆Lend a Hand◆

◆手を貸そう◆

[ジョナサンB.マジアベ]



会長：渡辺篤司 副会長：柳原寿男
幹事：小宮弘一郎 副幹事：宮川邦光

第1578回

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 後藤 功君



蓮華寺池公園の藤

[写真提供：櫻井 龍太君]

会長報告

渡辺 篤司君

早いもので今日が最後の私の理事会となりました。何とかこれまでやってこれましたのも、小宮幹事始め、理事会員の皆様方のご協力があったからこそと大変感謝しております。誠にありがとうございました。

次年度は柳原会長そして宮川幹事でスタートする事になりました。すばらしいコンビですので藤枝RCも益々発展することとしますので宜しくお願い致します。

理事会報告

小宮 弘一郎君

- 6月のプログラムが承認されました。
- 6月23日最終夜間例会が承認されました。
- 次年度理事会報告 宮川邦光君
- 7月8月のプログラムが承認されました。
- 新年度事業計画案・予算案について承認されました。(100周年記念事業費・事務費の見直しについて)
- テーブルメイト編成について承認されました。
- 納涼例会について承認されました。
- 会場設営について承認されました。

幹事報告

小宮 弘一郎君

- 榛南RCより創立25周年記念式典のお礼状が届いています。
- インターアクト海外研修についてのお知らせと参加申込み書がとどいています。
- インターアクト第31回年次大会の案内が届いています。
- 清水RCよりホームページ開設の案内が届いて

います。

国際大会報告

柳原 寿男君

<第95回RI年次大会に出席して>

第95回国際ロータリー年次大会は、5月23



日～26日まで大阪で開催された。藤枝RCからは水野、栗原、松葉義、村松英、各君と私が出席して参りました。

大阪ドームでは開会式、本会議、閉会式がリーガロイヤルホテルと大阪国際会議場で「友愛の家」及びその他の行事が行われた。

開会式は5月23日(日)、四万七千人が参加して午後3時45分に始まり、千玄室大会委員長の点鐘、大阪府知事、大阪市長の歓迎の挨拶のあと加盟国のフラッグセレモニーが延々と続いた。

ドーム内には巨大なスクリーンが張られ、演壇上には豆粒ぐらいに見える演者は拡大投影され、壮大な音響効果と相まって大変迫力のある演出であった。

ジョナサンB・マジアベRI会長の開会挨拶を最後に、午後5時過ぎ開会式は終了した。

翌日より本会議は次々と始まった。スピーカーはほとんど英語でしたが、7～8ヶ国語に同時通訳され、私もラジオのFM第2放送のサイクルを使って日本語で聴くことができた。

講演の中で特に印象に残ったスピーチは、いまだ世界のどこかで絶えることの無い戦争や紛争と、

その渦中に生活する子供達についてであった。病院らしい建物に収容されていても何の処置も施されず、ただベッドに臥している子供達、地雷で下肢を失っても足を引きずりながら明るい笑顔を投げかけた子供の映像も映し出され、いつも見慣れているテレビとは異なった強烈な印象を受けたものである。

日本国内でも子供達の問題は、いじめ、不登校、虐待等かなり言われているが、食べ物どころか水も無い、病気や怪我を治療する医師も薬も施設も無いなど想像できません。全く次元の異なった世界を垣間見た次第である。

戦争や紛争の原因には宗教の違いや民族の問題もありましょうが、飢えている他人のものを奪い取るという短絡的行動が戦争や紛争につながっていると、スピーカーの一人が訴えていた事が心に残っています。

ロータリー財団の役割の重大さを改めて感じた次第です。

大会委員長千玄室氏は元 R I 理事で京都 R C (茶道)のメンバーです。開会式当日のプレショーに津軽三味線を、オープニングには金剛流の能を取り入れました。その他、着物ショー、和太鼓集団をバックに巨大な水墨画を箒のような筆で書かせたり、和弓の形を披露したり純日本風のエンターテイメントをいろいろと堪能させてくれました。大阪国際会議場には茶室まで設けられておりました。

尚、開会式終了後、提携を結んでいる松任 R C のメンバー 9 名と楽しい会食を共にしました。高島会長、西竹副会長、平田幹事、女性会員を交えて歓談すること深更に及び、再会を約して別れました。

出席報告

宮川 邦光君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
26 / 42 61.90%	30 / 42 71.43%

(1) 欠席者 (事前連絡とメーカーをどうぞ)

酒向君 杉浦君 鈴木廣君 仲田廣君
村松宏君 成瀬君 望月志君 桜井富君
浅川君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 橋本延君
山田君 村松英君

(2)メーカー者

杉山 静一君 (焼津南) 青島 克郎君 (焼津南)
岩崎 四郎君 (静岡)

スマイル BOX

宮川 邦光君

● 6月8日は70回目の誕生日です。60才台最後の1週間となりました。老人医療が先送りされたのが残念です。

竹田 勲君

● 妻の誕生日お礼もうします。6ウソを祝して一句

“若鮎のいつのまにか鮭になり”

“過ぎゆく日妻も旅人春惜しむ”

望月 晃君

スマイル累計額 964,500円

委員会報告

インターアクト委員会 青島 克郎君

インターアクト指導者講習会打ち合わせ

日時：6月9日(水)例会終了後13:40~

場所：藤枝 R C 事務局

その後、16:30より順心高校の会場チェック、リハーサルに立会います。時間のある方はよろしくお願い致します。

広報・雑誌委員会 卓話

望月 晃君

世界に誇る芸能「能」について



能のことを「能楽」狂言のことを「能狂言」と呼んでいる能は舞を伴う歌劇であって舞踊的なそして音楽的な美を追求する仮面劇である。西洋でいうオペラが能である。オペラは悲劇が多く、狂言はオペレッタで喜劇です。オペレッタはオペラより下に見られ、日本の狂言と能の関係に似ているが同格です。800年以前は各々の神社にて猿楽として近

畿地方を中心に活躍していた。600年程前に観阿弥、世阿弥の親子により能楽は大成する。流儀としては観世、宝生、金春、金剛、喜多の五流がある。地方には宝生流では会津、加賀、佐渡などに独自の独立した流派がある。謡曲は初番目(神) 神霊をシテとする。二番目(男) 源平の武人をシテとする修羅物。三番目(女) 美人をシテとする。四番目(狂) 狂女をシテとする。五番目(鬼) 鬼や天狗をシテとする。

昔から謡の15徳といって楽しみを説いた言葉がある。

1. 行かずして各所を知る。
2. 思はずして上座に上る。
3. 馴れずして武芸に近づく
4. 旅にありて知音を得る。
5. 軍せずして戦場を知る。
6. 習わずして戦場を知る。
7. 望まずして高位と交わる
8. 詠めずして花月を望む
9. 老いずして古事を知る。
10. 友なくして閑居を慰む
11. 触れずして化道を知る。
12. 恋せずして美人を懐う。
13. 祈らずして神徳を得る。
14. 薬なくしてうつ気を散す。
15. 巖ならずして形美を嗜む。

謡は臍下丹田に力を入れて腹の底から声をしぼり出すので、自分から健康になる。現代のようにめまぐるしい社会生活をしていると謡によって邪念を払って静雅の境地に身を置くことはなにより精神療法によいといえよう。

謡は、180番の演目があり、源平の戦に題をとった船弁慶、橋弁慶、敦盛、源氏供養、須磨源氏などがある。静岡に関係あるのは、羽衣、熊野などがある。

私は20歳より55歳まで謡をやり、人間国宝の高橋進先生に可愛がっていただき、色々と勉強させていただきましたが、夜の芸能の方も多く教授させていただきました。

(担当 / 松寄)